

# アナリストレポート

持ち直しの動きが続いているものの、一部で一服感がみられる

しがぎん  
経済文化センター  
(産業・市場調査部)

## 県内景気 天気図



- 凡例
- 晴れ 曇り一部曇り
  - 曇り 曇り一部雨
  - 雨
- 前月比
- 上昇・好転 横ばい
  - 下降・悪化

### 県内景気の動向

**現状** 県内製造業の生産活動を鉱工業生産指数で見ると、前月に比べ食料品や電気・情報通信機械などで上昇したものの、生産用機械や化学などで低下したため、全体では3か月ぶりに低下した。

需要面では、百貨店・スーパー販売額がウエイトの高い飲食料品が減少したため、全店ベースでは2か月連続、既存店ベースでは14か月ぶりにマイナスとなった。しかし、衛生用品や食品などの買いだめで増加した昨年の影響を排除した一昨年と比べると増加している。また、大型専門店などの他の小売業態の販売額はドラッグストアとホームセンターが昨年の大幅増加の反動でマイナスとなり、小売業6業態計の売上高は2か月連続で減少した。ただ、一昨年と比べると増加しているため引き続き堅調に推移しているとみられる。乗用車の新車登録台数は2か月ぶりの大幅増、軽乗用車の販売台数も3か月連続かつ大幅に増加したため、3車種合計では7か月連続かつ大幅に増加している。

投資需要では民間設備投資の指標である民間非居住用建築物着工床面積は13か月連続かつ大幅に減少し、公共工事の請負金額も7か月連続の大幅減少となっているが、新設住宅着工戸数は2か月ぶりに大幅増加した。

このような中、雇用情勢をみると、新規求人倍率は2か月ぶりに上昇し、実態に近い就業地別の有効求人倍率は4か月連続で上昇している。また、常用雇用指数は9か月連続で上昇し、製造業の所定外労働時

### 京滋の景気動向

京都府・滋賀県の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状態にあるが、基調としては持ち直している。もっとも、足もとでは緊急事態宣言のもとで、個人消費を中心に下押し圧力が強い状態が続いている。

個人消費をみると、緊急事態宣言のもとで、サービス消費を中心に持ち直し基調が一服している。観光は、引き続き厳しい状態となっている。設備投資は、製造業を中心に下げ止まっている。住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。公共投資は、高水準で推移している。こうした中で、生産は、緩やかに増加している。また、雇用・所得環境

間指数は26か月ぶりに上昇した。

これらの状況をまとめると、製造業の生産活動は回復に向けた動きの中に一服感がみられる。需要面では、個人消費は昨年的大幅増加の反動や一部の業態、品目での引き続き伸び悩みがみられるものの、全体としては堅調に推移している。しかし、投資需要では住宅投資が再び増加したものの、民間設備投資と公共投資は悪化が続いている。この中で雇用情勢は全体に持ち直しの動きがみられる。したがって県内景気の現状は、持ち直しの動きが続いているものの、一部で一服感がみられる。

**今後の動向** 県内製造業の生産活動については、個人消費を中心とする内需は比較的堅調に推移し、中国や米国の景気回復に伴う外需の回復も引き続きみられ、先の半導体大手の工場火災による車載向け半導体の供給制約は徐々に正常化していくため、現状の停滞感は再び上昇に向かうものと考えられる。個人消費については3度目の緊急事態宣言の延長(4/25~5/31⇒6/20)による影響が懸念されるが、本格的なワクチン接種が始まり消費マインドの悪化は一部にとどまるとみられ、持ち直しが持続すると思われる。一方、民間設備投資や住宅投資などの投資需要については慎重な動きが続くと考えられる。したがって今後の県内景気については、一部で厳しい状況が残るものの、全体に回復に向けた動きが出てくると思われる。

をみると、労働需給・雇用者所得ともに弱い動きとなっている。

今後については、当面、感染症の影響から厳しい状態が続くとみられるが、緩和的な金融環境や政府等の各種経済対策の効果もあって、徐々に改善していくとみられる。こうした中、感染症の帰趨、政府等が打ち出している各種経済対策の効果、米中間の貿易摩擦を含む海外経済の動向、それらが管内経済に与える影響等に注視していく必要がある。

【日本銀行京都支店:「管内金融経済概況」(2021年6月8日発表)より】

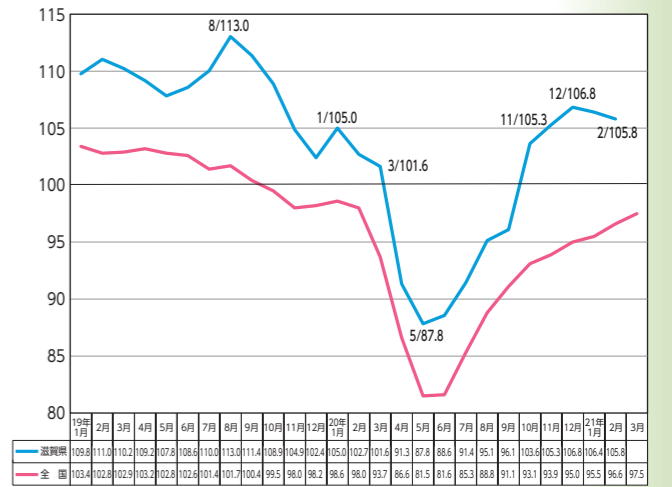
### 「鉱工業生産指数」の前月比は

#### 3か月ぶりに低下

- ・鉱工業生産指数(2015年=100)の「原指数」(2021年3月)は128.4、前年同月比+7.5%となり、2か月ぶりに上昇したが、「季節調整済指数」は102.0、前月比-7.3%で、3か月ぶりに低下。この結果、季調済指数の3か月移動平均値(21年2月)は105.8、前月比-0.6%となり、新型コロナウイルス感染拡大前の20年1月の水準(105.0)を11月に超えたものの(105.3)、2か月連続で低下し一服感がみられる。
- ・業種別季調済指数の水準が100の基準を上回ったのは「汎用・業務用機械」(122.9)や「生産用機械」(113.9)、「化学」(109.4)などで、一方、「電子部品・デバイス」(67.4)や「金属製品」(74.2)、「窯業・土石製品」(79.1)などは引き続き極めて低い。
- ・前月と比較して高ウエイトで上昇した業種は、「食料品」(前月比+7.0%)、「電気・情報通信機械」(同+6.2%)、一方、低下したのは「生産用機械」(同-36.9%)、半導体・フラットパネルディスプレイ製造

装置)、「化学」(同-13.5%)など。

鉱工業生産指数の3か月移動平均値の推移(季節調整済値、2015年=100)



### 「小売業6業態計売上高」は

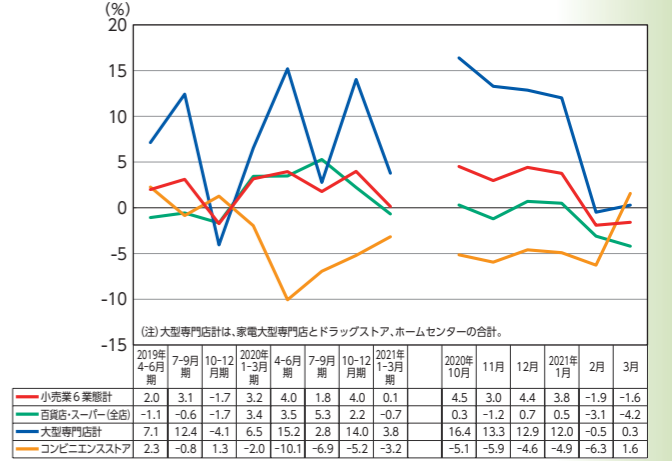
#### 2か月連続で減少

- ・「百貨店・スーパー販売額(全店ベース=店舗調整前、対象102店舗)」(21年3月)は、20,400百万円、前年同月比-4.2%となり2か月連続で減少した。しかし、衛生用品や食品などの買いだめで増加した昨年の影響を排除した一昨年と比べると増加している(+1.8%)。品目別では、「家電機器」(同+4.9%)と「家庭用品」(同+1.9%)は前年を上回ったものの、ウエイトの高い「飲食料品」が16か月ぶりに減少したのをはじめ(同-3.6%)、「衣料品」(同-6.3%)、「身の回り品」(同-8.3%)も減少している。また、「既存店ベース(=店舗調整後)」でも14か月ぶりに減少した(同-0.8%)。品目別にみるとウエイトの高い「飲食料品」(同-2.1%)が減少。
- ・大型専門店では、ウエイトの高い「ドラッグストア」(全店ベース=店舗調整前、3月、216店舗)は6,819百万円、同-2.0%で、2か月連続で減少。これは前年同月が衛生用品や食品などの買いだめでより大幅増加(同+10.7%)したためで、一昨年同月に比べると増加している(+8.5%)。「家電大型専門店」(同42店舗)は4,331百万円、同+11.9%となり6か月連続かつ大幅増加。「ホームセンター」(同63店舗)は3,012百万円、同-8.4%で、6か月ぶりに減少したが、これも一昨年同月に比べると増加(同+1.1%)。「コンビニエンスストア」(同558店舗)は9,311百万円、同+1.6%となり13か月ぶりに増加した。ただ、一昨年同月に比べると減少(同-5.3%)。
- ・これらの結果、「小売業6業態計売上高」(3月)は43,873百万円、同-1.6%で、「百貨店・スーパー」と「ホームセンター」が大幅マイナスとなったため、2か月連続で減少した。しかし、一昨年同月に比

べると微増となり(+1.6%)、新型コロナ対策のための衛生用品をはじめ、「新しい生活様式」に関連した家電機器の販売などが引き続き堅調に推移しているとみられる。

・「乗用車新車登録台数(登録ナンバー別)」(4月)については、「小型乗用車(5ナンバー車)」は6か月連続かつ大幅に減少したものの(993台、同-10.0%)、「普通乗用車(3ナンバー車)」が7か月連続で大幅増加したため(1,495台、同+56.9%)、2車種合計では2か月ぶりの大幅増となった(2,488台、同+21.0%)。また、「軽乗用車」が3か月連続かつ大幅に増加したため(1,912台、同+45.5%)、これら3車種の合計では7か月連続かつ大幅に増加している(4,400台、同+30.6%)。

百貨店・スーパー、大型専門店、コンビニエンスストアの小売業態別販売額(前年同期(月)比)



### 「新規求人倍率」は

#### 2か月ぶりに上昇

- ・「新規求人数(パートを含む)」(21年4月)は7,412人、前年同月比+19.4%で、16か月ぶりの大幅増加、「新規求職者数(同)」は6,556人、同+18.5%で、2か月連続で大幅増加。
- ・「新規求人倍率(パートを含む、季節調整済)」は1.58倍で前月に比べ2か月ぶりに上昇した(前月差+0.09ポイント)。「有効求人倍率(同)」は対前月で0.01ポイント上昇の0.91倍となっているものの、12か月連続で1倍を下回り低水準が続いている。しかし、実態に近い「就業地別」の有効求人倍率は1.13倍となり、4か月連続で対前月上昇し(同+0.06ポイント)、3か月連続で1倍を上回っている。
- ・「常用雇用指数(事業所規模30人以上、2015年=100)」(3月)は98.9、同+0.3%で、9か月連続で上昇。また、「製造業の所定外労働時間指数(同)」は89.5、同+4.1%で、26か月ぶりに上昇。

求人倍率の推移(パートを含む、季節調整済値)

